

未来の夢を創る子



平成30年12月7日 富岡第一小学校 997-0343

12月

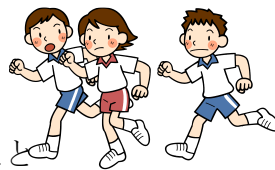
マラソン大会が終わって

校長 藪下 亮治

「先生、どうしてマラソンをやるの？」と、子供たちはよく聞きます。

持久走練習やマラソン大会は、

- ・強い体をつくること
- ・最後まで頑張り抜く心を育てること



を目的に行います。でも、子供たちの目標はわかりやすい「順位」に向いてしまいます。確かに保護者にとっても順位は「子供たちの頑張り」がわかりやすいかもしれませんが。

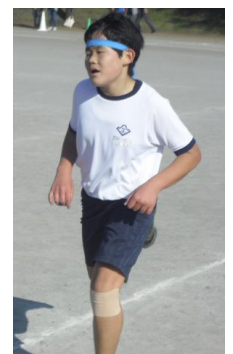


かけ足週間の最初の日の11月13日、健康カードをわすれて練習に参加できない子が、24人もいました。その後も20人ほどがカード忘れてくることもありましたが、22日には5人まで減りました。子供たちの頑張りとは、それだけではありません。

- ・かけ足週間、体育の授業のマラソン練習に全部参加した子が、たくさんいました。
- ・いつもはバスで通っている子が、マラソン大会に向け歩いて通っていました。
- ・登校前や夕方、休みの日に、自主的に練習している子を見かけました。お家の人も一緒に走っていることもありました。
- ・去年は、「走るの嫌だ。」と言って練習に参加できなかった子が、今年は練習に熱心に取り組みました。

そして、マラソン大会当日

- ・足や膝が痛いけど、我慢して大会に参加している子がいました。
(決して無理強いはしていません。)
- ・運動場で転倒したけど、すぐに立ち上がり最後まで頑張って走りました。
- ・マラソンは得意じゃないという子が、最後まで1歩も歩かず走り切りました。
- ・精一杯力を出し切っている姿を、見るのができたマラソン大会でした。
- ・マラソン大会の翌日も、たくさんの人が朝の自主トレに励んでいました。



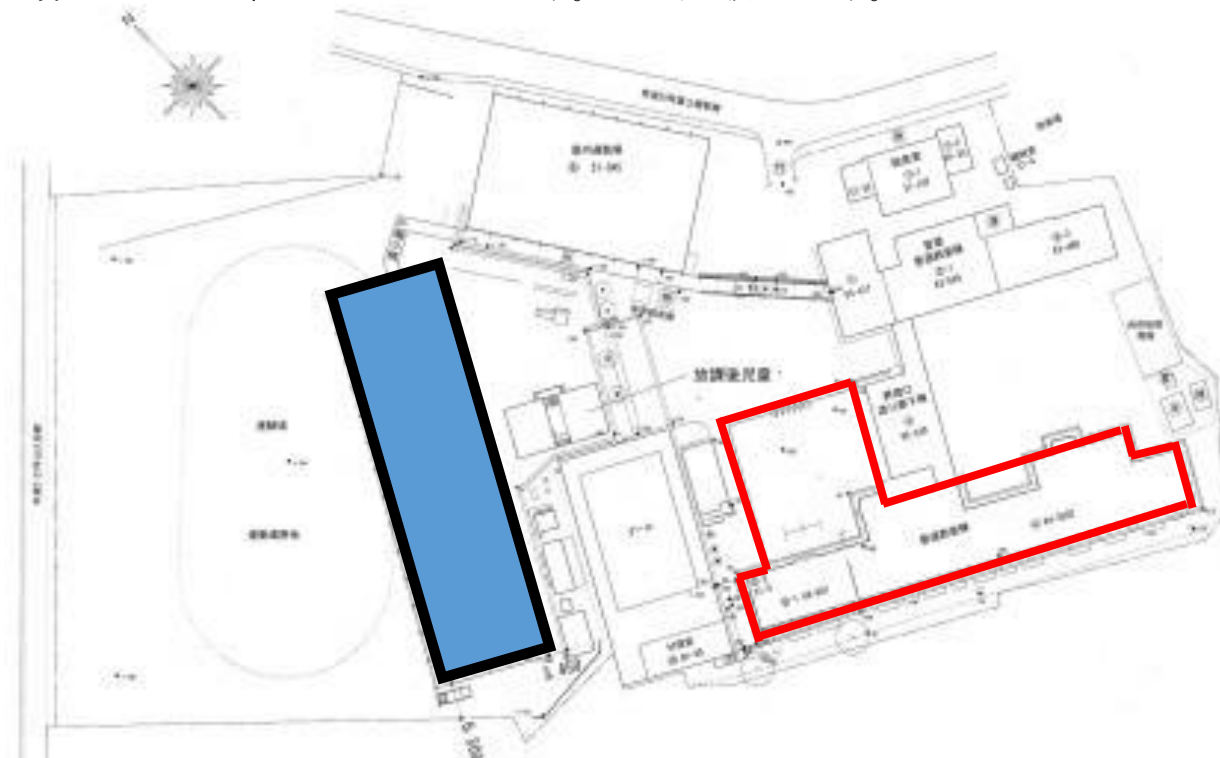
そんな子供たちの頑張りを称揚するために、11月30日の全校朝会で、特大賞状「がんばったで賞」を「がんばった富岡第一小のみなさん」に渡しました。校舎1階通路に掲示してあります。お時間がありましたら、ぜひ見に来てください。

プレハブ校舎に

来年度8月頃から、南校舎耐震工事・大規模改修工事が始まります。工期については、正式に決定していませんが、おおよそ1年間の予定です。運動場の東側に2階建てのプレハブ校舎を建てて、南校舎の全普通教室、一部特別教室を移します。

毎日の生活・授業で不便を感じたり、行事の運営が例年と同じようにできなくなったりすることが予想されます。教室配置についても、例年通りにはいかないので、職員で検討を重ねていきたいと思っています。

来年度、保護者の皆さんに、引っ越しのお手伝いをお願いすることになると思います。具体的な日程が分かりましたら、お知らせしていきます。宜しくお願いします。



「サンキュー年賀」地域の皆様にご協力いただきました



最近、SNS等が普及し、手紙やはがきをやり取りする機会が減ってきています。しかし、子供たちには、手紙やはがきで思いを伝える楽しさや喜びも経験してほしいと思います。また、手紙やはがきの書き方は、国語の学習活動の一つです。

そこで、地域の企業の協力による「サンキュー年賀」という企画で、裾野郵便局から1～3年生に年賀はがきを寄贈していただきました。これ活用して、はがきの書き方を学習します。1年のしめくくり、友達や遠方にいる祖父母、お世話になっているいろいろな方の顔を思い浮かべ、新年のあいさつと近況やがんばっていること等、気持ちを伝えるはがきを書きたいと思います。

なお、今年は年賀状を出さないというご家庭もあるかと思いますが、国語学習の一つとして実施しますので、授業では同じように書かせていただきたいと思います。（投函は自由です）ご理解とご協力をお願いいたします。